



# 郷小だより

浜之郷小学校



2月号⑦



Dear Gosyo kids !

2022. 2. 25

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

## 『朝の見守りをしながら思うこと』

校長 高橋 励

いつの間にか、2月も半ばをすぎました。もうすぐ学年が一つずつ上がりますね。6年生のみなさんは、小学生でいられる残り時間はもうわずか。中学生になるという実感は、どのくらいふくらんでいるのでしょうか？新たなスタートに向けて、3月が自分を振り返る時間になるといいですね。

そんなみなさんへ校長先生から質問。「時間を守る」ということをどのくらい心がけているでしょうか？

朝、8時25分に校歌のメロディのチャイムが流れます。もうこの時間には教室であなたを待っている担任の先生もいます。モールの下でなわとびをしている人たちも校舎に入っていきます。みんな、「時間」を守ることが心がけていることが伝わってきます。

その時間を過ぎても登校してくる人はいます。息を切らして走ってくる人、急ぎ足で門に吸い込まれていく人、少し足取りが重い人、友だちとのんびりお話をする人…。それぞれ理由はあるのでしょうか。でも、中学校の先生だった校長先生はちょっと心配になります（特に6年生！）。中学校では、8時30分には教室の自分の席に座っていることは当たり前。だって、ほかのだれかとともに生活するうえで大切な約束の一つですから。

郷小の朝も8時30分から始まります。その時間には教室で、担任の先生があなたが無事に登校するのを待っています。自分の生活のリズムは大事。でも、「みんな」とのペースも意識してみませんか？（ちなみに「しかられないうちは大丈夫」と思っていたらそれは大きなカンチガイですよ）

「こだまでしょうか」  
金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと  
「遊ぼう」っていう。

「ばか」っていうと  
「ばか」っていう。

「もう遊ばない」っていうと  
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで  
さみしくなって、

「ごめんね」っていうと  
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、  
いいえ、誰でも。

朝の見守りをしているときに、よく頭の中に思い浮かぶ詩を紹介いたします。読む人によって受け止め方はさまざまですが、私は「だまが返ってこないときに、この詩が思い浮かびます。」

「おはようー」っていうと……。